

美濃和紙明かり 日本代表

インテリア雑誌主催の世界的デザイン賞



国際見本市で展示された美濃和紙の明かり「FUSION Collection」＝県提供

アトリエ・オイ社と県内企業の連携は2014年9月、県主導でスタート。4社4品が共同開発され、ノミネート作品もその一つ。今年4月、県が国内自治体として初めて出展したイタリア・ミラノでの国際見本市「ミラノ・サローネ」で発表し、好評を得ていた。世界25の国・地域で発行されている雑誌「エル・デコ」主催の世界的デザインアワード「エル・デコ インターナショナル・デザイン・アワード」照明やベッドなど13部門で、各国・地域の代表作品で「その年を象徴する商品」を決定する。各国・地域の編集長による投票結果は来年4月の「ミラノ・デザイン・ウィーク」で発表される。【岡正勝】

「匠の技と伊文化などが融合」

県は28日、県内企業と海外デザイナーが共同開発した美濃和紙の明かりが、インテリア雑誌主催の世界的なデザインアワードに日本代表作品として選出されたと発表した。照明部門にノミネートされた明かりは「FUSION Collection」と。外側の透き通るシルク製シェードが、内側の手すき美濃和紙のトリック・レナアが製造を手掛けた。を映し出し光の繊細さを引き立てる。「日本トリエ・オイ」がデザインの匠の技とイタリア文化などが融合した新しい照明としている。ザイン・雑貨メーカー「ダネーゼ」（イタリア

県内企業と海外デザイナー共作

投票結果 来春発表